



RG20送受信データの波形比較 - OUTG, OUT, RECV -

<OUT, OUTG, RECVについて>

- ・OUT 出力データ（送信データ）
- ・OUTG 出力ゲート OUTGが“H”レベルの時OUT(出力データ)が活性化します。“L”レベルの時OUTはフローティングです。
- ・RECV 入力データ（受信データ）

RiBシリアルライン上で、1ノードがMCに設定された”MCノード”です。MCノードはRiBシリアルライン上で1ノードのみ存在しています。MCノードと非MCノード(MC以外のノード)のOUT、OUTG、RECV波形について比較しました。

<MCノード SS : #n>

MCノードにおけるOUT, OUTG, RECVの簡易波形を示します。

OUTG、OUT : 全てのトークン、MCノードに設定されたSS(Sending Slot)のデータが出力されます。

MCはトークンを発行しているため、全てのトークンが出力されています。

RECV : 全てのトークン及びデータを受信しています。

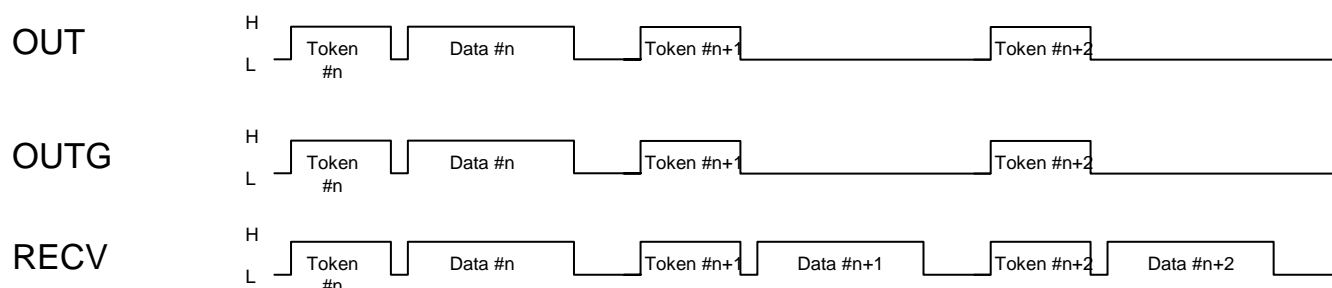


図1 MCノードにおけるOUT, OUTG, RECV信号の簡易波形

<非MCノード SS : #n+2>

MCノードにおけるOUT, OUTG, RECVの簡易波形を示します。

OUTG、OUT : 全てのトークン、MCノードに設定されたSS(Sending Slot)のデータが出力されます。

MCはトークンを発行しているため、全てのトークンが出力されています。

RECV : 全てのトークン及びデータを受信しています。

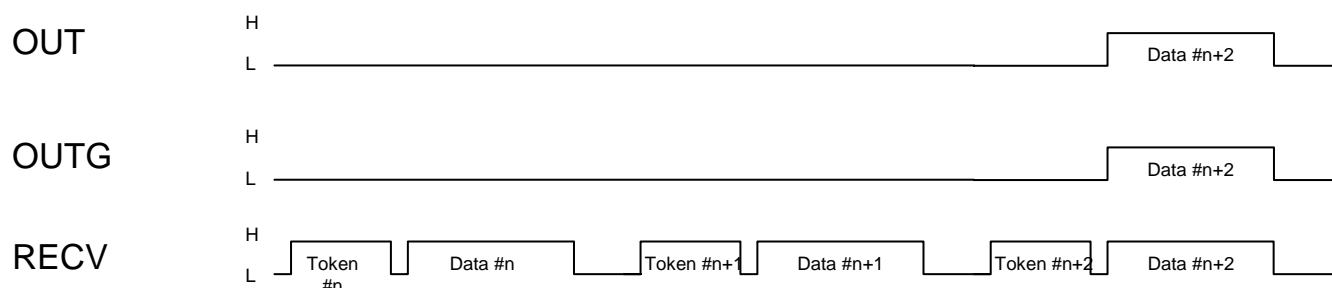


図2 非MCノードにおけるOUT, OUTG, RECV信号の簡易波形